

自分なりの授業をつくりたいと思っているあなたに 「授業づくり」の道筋が見える 高校公民科新科目「公共」教師用ガイドブック

他者とともに社会をつくる市民を育てる

市民とは何でしょうか？…私たちは、市民を「他者と一緒に社会をつくっていく主体」としてとらえています。「公共」の授業では、「他者と一緒に社会をつくっていく主体」としての「市民」を育てたいというのが私たちの願いです。（「はじめに」より）

どのように「授業」をつくっていくのかを明らかにしました

教材研究(授業づくり)を2段階で捉え、第1段階は授業者自身が学問の到達点を探り、生徒に「つかませたいこと・気づかせたいこと、考えさせたいこと」をはっきりさせる段階、第2段階はそれに相応しくかつ生徒が学びたくなるような「問い合わせ」「教材」を考え、用意する段階として構成しました。

また、「一年間の授業」を意識して編集しました。どんな年間授業プランがつくれるかと議論し、学習指導要領の各項目すべてを実施した場合を想定し、「これこそ生徒に学んでほしい、考えてほしい」と思うテーマや概念・知識に絞りました。年間授業プランを立てる参考にしてもらえば幸いです。

現場の高校と大学の教員が執筆

未来を生きる高校生にふさわしい「公共」の授業をつくりたい。そんな思いで、高校と大学の教員8名が集り、各自のこれまでの授業実践を批判的に検討し、新たな授業プランをつくり、1冊の本にまとめました。

7月28日
発売！

《本文の構成》

*教材研究の第1段階

筆者の問題意識

1 教材研究の過程

2 単元の要点

書籍案内

*教材研究の第2段階

1 単元の構想

2 授業計画と授業展開例

《目次》

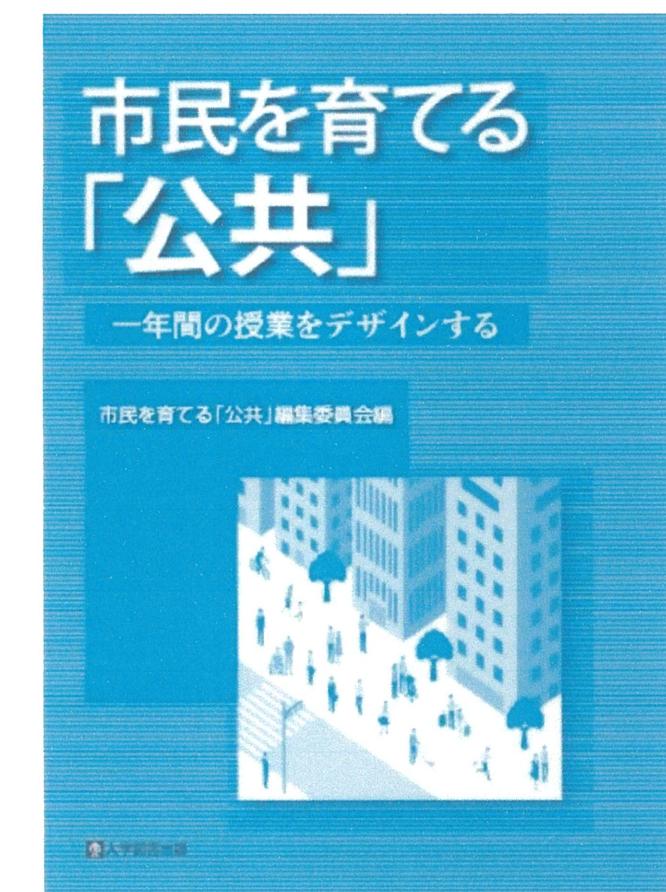
- A 1：「公共」の扉をひらく青年期の授業づくり
- A 2：在り方生き方の授業づくり—生命倫理を中心に—
- A 3：私たちがつくる民主主義の社会
- B 1：法と裁判の授業プラン
- B 2：政治はだれものですか？
- B 3：「領土」って何？「国家」って何？
- B 4：平和主義と安全保障
- B 5：人々の命とくらしを大切にする「国際貢献」とは？
- B 6：ともにケアする社会へ
- B 7：人々の生活を支える政府の役割
- B 8：「市場経済の機能と限界」の授業づくり
- B 9：「金融の働き」の授業づくり
- C：一年間の「まとめ」としての探究學習
- 授業づくりのアイデア(特集)
 - ・「対話する授業」について考える
 - ・新聞記事の利用のすすめ
 - ・紙上討論のすすめ
 - ・授業でのICTとの付き合い方
 - ・一年間の授業プラン例

市民を育てる「公共」編集委員会 編

体裁：B5版・176ページ

定価：1,980円（本体1,800円+税10%）

ISBN978-4-909655-65-3



ご注文は、小社ホームページからお申込みください。amazonでも購入できます。

お問い合わせは…大学図書出版 〒102-0075 東京都千代田区三番町14-3 岡田ビル4F TEL 03-6261-1221 FAX 03-6261-1230